

近畿地方整備局 入札監視委員会（令和2年度第一部会第2回定例会議）審議概要（案）

|                       |  |                  |                            |         |                        |                |
|-----------------------|--|------------------|----------------------------|---------|------------------------|----------------|
| 開催日及び場所               | 令和3年3月26日（金） 大阪合同庁舎第1号館 第一別館 2階 大会議室   |                  |                            |         |                        |                |
| 委員<br>（五十音順）<br>（敬称略） | 泉 克幸（関西大学 教授）・（今回抽出担当）<br>神田 彰（公益社団法人関西経済連合会 理事）<br>木村 亮（京都大学大学院 教授）<br>清滝 ふみ（近畿大学 教授）<br>高橋 司（勝部・高橋法律事務所 弁護士）・（第一部会長） |                  |                            |         |                        |                |
| 審議対象期間                | 令和2年4月1日 ～ 令和2年9月30日   |                  |                            |         |                        |                |
| 抽出案件                  | 総件数10件（工事6件、業務3件、物品・役務1件）  |                  |                            |         |                        |                |
| 契約方式                  | 件数   | 件名               | 契約日                        | 契約業者名   | 契約金額                   |                |
| 工 事                   | 一般競争入札<br>（WTO対象）  | 1件               | 足羽川ダム本体建設（第1期）工事           | R2.7.31 | 清水・大林特定建設工事共同企業体       | 13,777,500,000 |
|                       | 一般競争入札<br>（WTO対象外）   | 4件               | 第五管区海上保安本部（泉佐野）第二庁舎新築等建築工事 | R2.7.27 | 大鉄工業(株)                | 349,800,000    |
|                       |  |                  | 瀬田川洗堰耐震対策工事                | R2.6.22 | (株)内田組                 | 125,400,000    |
|                       |  |                  | 守口共同溝他機械設備修繕工事             | R2.5.7  | 近畿設備(株)                | 243,100,000    |
|                       |  |                  | 電気通信設備整備工事                 | R2.7.20 | 西菱電機(株)                | 144,100,000    |
| 随意契約                  | 1件   | 大野油坂道路天頭谷橋下部工他工事 | R2.5.14                    | (株)辻広組  | 363,000,000            |                |
| 業 務                   | 簡易公募型競争入札  | 1件               | 西舞鶴道路今田北地区他地質調査業務          | R2.9.7  | (株)エイト日本技術開発           | 27,225,000     |
|                       | 簡易公募型プロポーザル  | 2件               | 大和川環境特性調査業務                | R2.4.13 | (株)建設環境研究所             | 26,774,000     |
|                       |  |                  | 里山調査維持管理業務                 | R2.4.16 | ニュージェック・環境緑地設計研究所設計共同体 | 29,656,000     |
| 役務及び物品                | 一般競争入札   | 1件               | 令和2年度河川情報精度監視業務            | R2.4.1  | 一般財団法人河川情報センター         | 1,005,400,000  |
| 委員からの意見・質問、それらに対する回答等 | 意見・質問  |                  |                            | 回 答     |                        |                |
|                       | 別紙のとおり   |                  |                            | 別紙のとおり  |                        |                |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容    | なし   |                  |                            |         |                        |                |

| 意見・質問  | 回答   |
|--|--|
| <p><b>【報告事項】</b></p> <p>■ 四半期毎の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に質問なし。</li> </ul> <p>■ 指名停止措置の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に質問なし。</li> </ul> <p>■ 談合情報等の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札説明書の交付を受けずに参加申請書の提出があった場合の全社への事情聴取については、非効率だと思うので、当該業者は調査無しで参加資格なしと判断すればよいのではないかと。</li> </ul> <p>■ 再度入札における一位不動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に質問なし。</li> </ul> <p>■ 低入札調査対象工事・業務の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に質問なし。</li> </ul> <p>■ 一者応札の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>■ 不調・不落の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数少ない応札者の中、せっかく応札してくれる会社には、結果的に受注できなくても、加点点評価等のインセンティブを与えてもよいのではないかと。</li> </ul> <p>■ 高落札率の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に質問なし。</li> </ul> <p>・報告については了承とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社で示し合わせて談合等の行為を行っていることも考えられるので、疑義の有無をしっかりと調査する必要があると判断している。</li> <li>・不調不落対策として、維持修繕工事等への参加を促すため、社会的条件の厳しい工事について「社会条件評価工事」として指定して発注し、完成した企業に対しては、以降の工事の総合評価において加点する取り組みを、令和2年1月公告工事から試行している。</li> </ul> |

【審議】

■抽出案件結果報告

■抽出案件説明及び審議

● 1. 一般競争入札方式(WTO 対象)

(足羽川ダム本体建設 (第 1 期) 工事)

- ・各者とも難しいテーマに対して頑張って技術提案をしたと感じている。また、技術提案評価型の総合評価落札方式のシステムが有効に働いた入札であり、教科書に載せても良いような事例だと思う。

- ・本件は了承とする。

● 2. 一般競争入札方式(WTO 対象外)

(第五管区海上保安本部 (泉佐野) 第二庁舎新築等建築工事)

- ・入札辞退や入札無効が多いように思うが、何か特段の事情があるのか。

- ・入札保証金の納付を行わなかった事による入札無効の者があるが、どういうことか。

- ・入札保証金は現金での納付となるのか。

- ・本件は了承とする。

● 3. 一般競争入札方式(WTO 対象外)

(瀬田川洗堰耐震対策工事)

- ・コリンズ実績による対象者数は 47 者あり少ないと

- ・入札手続期間中に他の工事を受注するなどにより技術者の配置を変更される場合がある。建築工事は民間工事も多いため、一般土木工事に比べ少し多いと考えられる。

- ・このケースは、単に失念していたためである。

- ・入札保証金は、現金による納付もできるが、保証会社による保証を受けることも可能である。

- ・規模は問わず幅広い実績で対象者は多いのだが、堰

|   |  |
|---|--|
| <p>は思わないが、何故一者応札なのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域要件を滋賀県内の企業に限定するのは何故か。</li> <li>・細かい作業が多く面倒くさい工事だが、よく受注してくれたと思う。そういう者に対して評価点を加算するのは、とても良いシステムである。</li> <li>・本件は了承とする。</li> </ul> <p>● 4. 一般競争入札方式(WTO 対象外)<br/>(守口共同溝他機械設備修繕工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者が一者であるが、コリンズ実績による対象者数も、そもそも10者しかない。</li> <li>・チャレンジ型の効果は如何か。チェックはしているのか。</li> <li>・本件は了承とする。</li> </ul> <p>● 5. 一般競争入札方式(WTO 対象外)<br/>(電気通信設備整備工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格算出のための見積の聴取は、一者応札だから行うのか。</li> <li>・以前も同社による施工実績があるのか。</li> <li>・本件は了承とする。</li> </ul> | <p>を可動させながらの工事であり、また、堰の構造も複雑であり、水中での施工も必要であることから、難しい工事と判断されたのではないかと推測する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般土木Cの工事の場合、地域バランスを考慮し、一般的に県内企業を参加対象範囲としている。</li> <li>・この工事は、不調不落対策である社会条件に配慮した工事である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械チャレンジとして配置予定技術者の工事経験を必要としないなど、資格の要件を広げているが厳しい状況である。</li> <li>・入札手続が全て完了した後に、入札説明書をダウンロードしたが入札に参加しなかった者に対して、その理由について事情を聞く場合がある。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一者応札の場合だからではなく、複数者の応募がある場合においても、全社から見積を取り、決定した歩掛等を全社に提示することになる。</li> <li>・他工事で同種の実績がある。</li> </ul> |
|---|--|

● 6. 随意契約

(大野油坂道路天頭谷橋下部工他工事)

- ・一般競争が不調になり随意契約に移行しているが、条件を変えて再度競争に付すのではなく、随意契約する理由は。
- ・他の機関ではよく行っているが、違う形でやり直しても時間だけがかかり、また不調となり、結局何度も何度もやり直すこととなるので好ましくない。事業を円滑に進めるためには、本工事の手続は良い選択だと思ふ。
- ・何年か前から福井県内では、技術者の確保が難しいと聞いているが、現時点でも同様か。
- ・本件は了承とする。

● 7. 簡易公募型競争入札方式

(西舞鶴道路今田北地区他地質調査業務)

- ・特に質問なし。
- ・本件は了承とする。

● 8. 簡易公募型プロポーザル方式

(大和川環境特性調査業務)

- ・評価テーマにアユの遡上などをターゲットにするのであれば、配置予定技術者の資格要件について、その専門的な経験や能力が必要であると思うが。
- ・評価テーマに対する技術評価点の高い受注者以外の2者は通常予想できる内容の提案であり、もっと勉強するべきであると思う。

・事業工程や予算状況、現場状況等を考慮し計画している。工程、工事規模、施工内容の組み替えが出来ず速やかな契約が必要であるので、随意契約に移行した。

・北陸新幹線による影響のピークは越えたとも聞いているが、足羽川ダム工事など他の大規模事業もあり厳しい状況は続いているものの、その中で着実に執行している。

・技術者の資格要件として、技術士の「建設部門」だけでなく「環境部門」も対象としている。

|   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は了承とする。</li> <li>● 9. 簡易公募型プロポーザル方式<br/>(里山調査維持管理業務)</li> <li>・業務の内容において、大学との連携とは。</li> <li>・受注者と大学との関係はあるのか。</li> <li>・本件は了承とする。</li> <li>● 10. 一般競争入札方式<br/>(令和2年度河川情報精度監視業務)</li> <li>・金額が大きい契約であるが、何故一者応札なのか。</li> <li>・技術評価点と価格評価点の関係は。何か特別なルールがあるのか。</li> <li>・企業の参加資格要件において、求める同種業務の実績が特定の法人名との関連を思われる可能性もあることから、「情報の精度監視に係る業務」とするなど考えてみては如何か。</li> <li>・本件は了承とする。</li> <li>・審議事項についてはすべて了承とし、審議については終了とする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県立大学との連携を行っている。</li> <li>・契約に紐付くような関係は無い。</li> <li>・業務の規模が膨大であり、大人数の技術者を4月1日から確保するのが難しいと思われる。今後は、出来るだけ早い時期に公告するなど条件緩和に努めたいと考える。</li> <li>・一般的なルールとして、それぞれ60点換算としている。</li> <li>・価格評価点は、入札金額が予定価格に近ければ近いほど低くなる。</li> </ul> |
|---|--|